

製品仕様

● PI(物理アプライアンス)仕様



1RU

型番	PI-UCS-APL-K9	
電源	AC電源×2(冗長構成)	
HDD	900GB SAS HDD×4 [RAID10]	
サポートデバイス数 (台)	集中管理型AP	20,000
	自律型AP	3,000
	NAM	1,000
	ワイヤレスLANコントローラ	1,000
	有線デバイス	13,000
サポートClient数	全体制限	24,000
	有線Client	50,000
	無線Client	200,000
	ローミング	40,000


● CMX(物理アプライアンス)仕様



1RU

型番	AIR-CMX-3375-K9	
電源	AC電源×2(冗長構成)	
HDD	960GB SATA SSD×4	
サポートAP数 (台)	Base Locationライセンス	10,000
	Advanced Locationライセンス	10,000
最大追跡デバイス数(台)	100,000	
備考	CMXを利用するためにはPIが必須	

※APIはアクセスポイントの略称です。 PI、CMXは仮想アプライアンス版のご用意もあります。

 安全に関するご注意 ★本製品の設置/接続/使用に際しましては、取扱説明書などに記載されており、必ずお守り下さい。

お問い合わせは、下記のNECへ  
セキュリティ・ネットワーク事業部  
URL : <https://jpn.nec.com/datanet/cisco/>



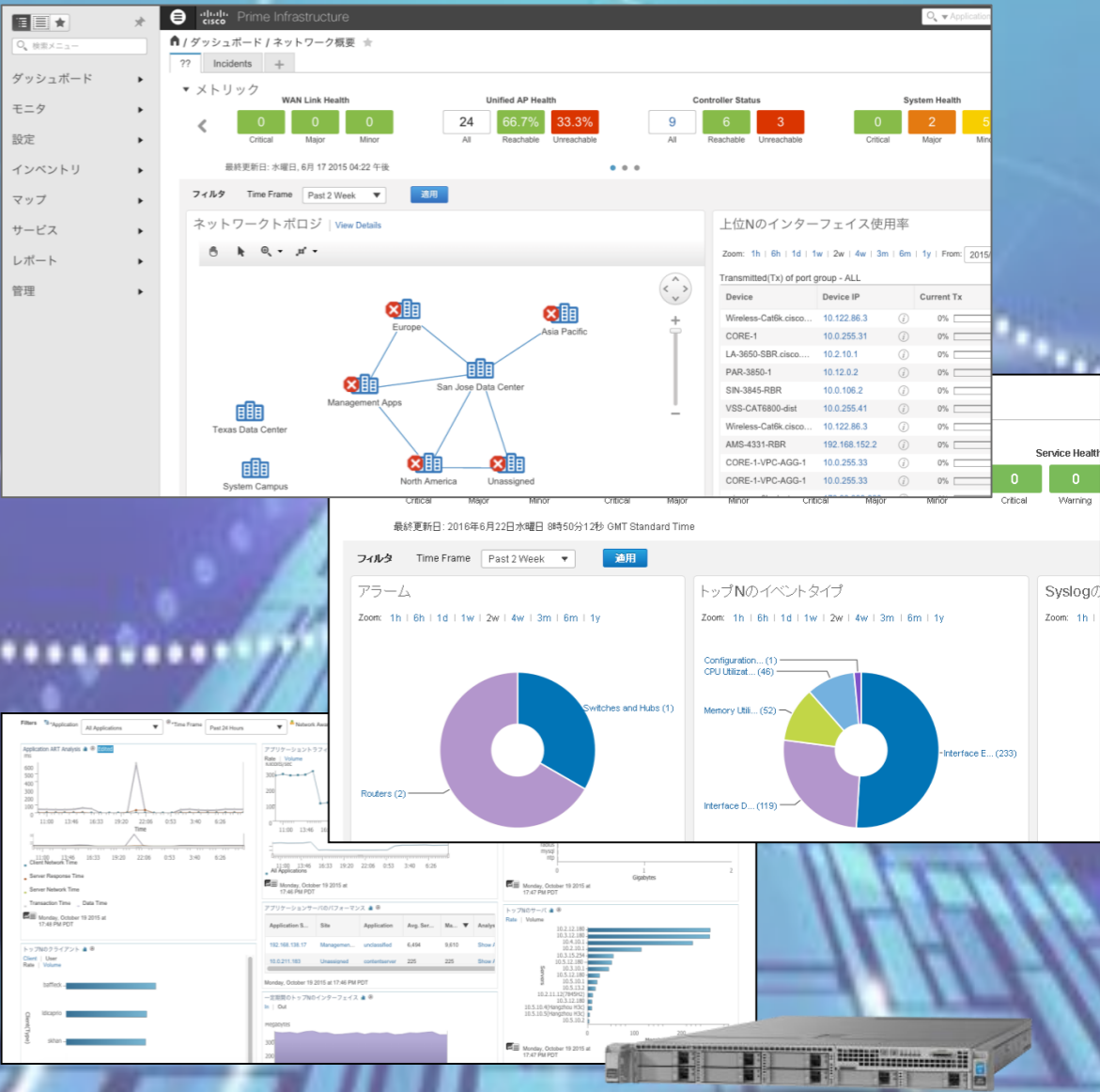
**Specialization**  
● Advanced Service Provider Architecture Specialization  
● Advanced Data Center Architecture Specialization  
● Advanced Enterprise Networks Architecture Specialization  
● Advanced Security Architecture Specialization

- 本製品の製造元はCisco Systems,Inc.です。
- Cisco、Cisco Systems、およびCiscoロゴは米国およびその他の国におけるCisco Systems,Inc.の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。
- 本カタログに掲載されている内容は、改良のため予告なくデザイン・仕様を変更することがあります。

ネットワーク管理アプライアンス

Cisco Prime Infrastructure シリーズ

無線および有線ネットワーク全体を包括的に管理できる、  
統合型管理プラットフォーム



# 有線LANと無線LANを構成するデバイスを包括的に管理し、ネットワーク管理者の負荷と運用コストの削減に貢献します。

## 製品概要

Cisco Prime Infrastructure(以下PI)は、対象のネットワーク機器を1つの画面で一括管理する製品です。見やすい画面でネットワークを可視化し、日々の運用を効率化します。

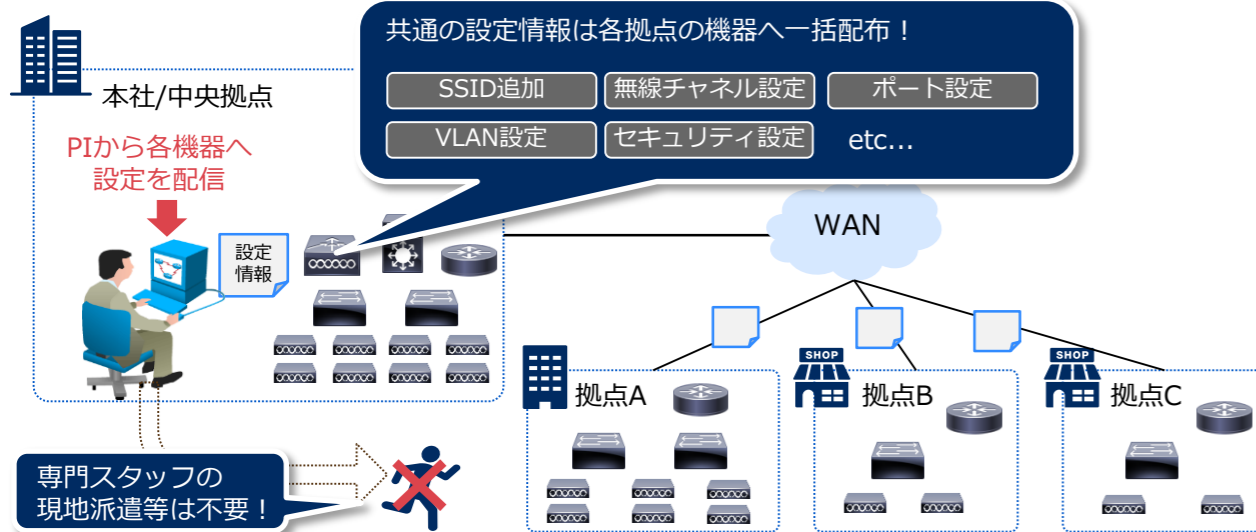
### ● 直感的でシンプルな構成

- 日本語対応のグラフィカルなユーザインターフェイスで簡単に設定・管理が行えます。

### ● 遠隔地、複数拠点の機器を一括管理

- 機器の設置場所を問わず、1つの画面から多くの有線・無線デバイスを一括管理できます。
- 設定情報のテンプレートを簡単に作成でき、各機器に一斉配布も可能です。

PIのダッシュボード



ネットワーク管理にける人員・工数・コストの削減に貢献します。

### ● スケジュール機能を使ったコンフィグの自動投入

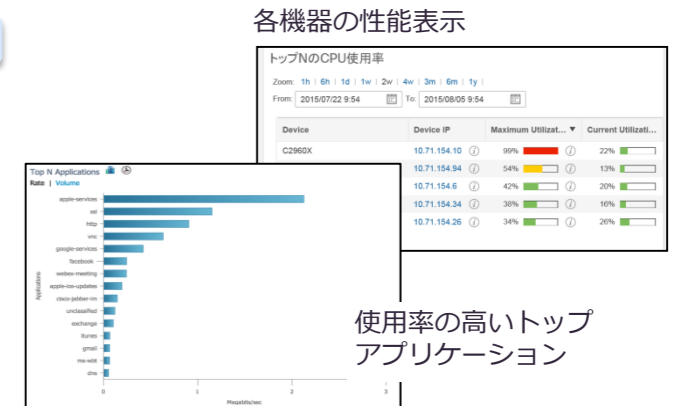
- 曜日・日付・時間等でタイミングを指定しコンフィグを投入することが可能です。

業務時間外はネットワーク機器への電源供給(PoE給電の場合)を止めるコンフィグの流し込みなどに利用可能！

スケジュール設定画面

### ● ネットワークの状況を可視化

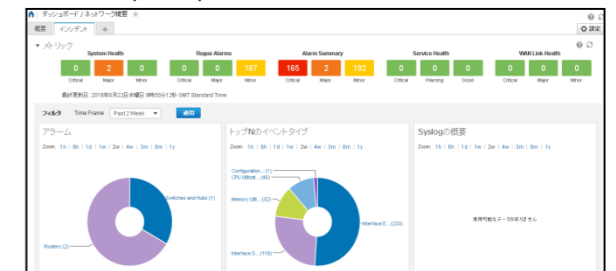
- 各機器のCPU利用率や稼働率などをモニタリングし、性能監視を行います。
- ユーザが利用しているアプリケーションの種類や使用率、トラフィック量などをグラフ等で見える化します。



### ● 障害管理に役立つツールを搭載

- 現在のネットワーク上に起きている障害をグラフなどで直感的に把握できます。
- 障害発生時に管理者にアラートメールを配信することも可能です。

アラート/ログ/イベントの見える化



### ● 見えない電波を見える化

- 電波の状態を可視化し、無線LANの稼働状況を直観的に把握できます。
- アクセスポイントの死活監視や、干渉等の無線障害の原因を明確化し、迅速な対応が行えます。

無線LAN可視化画面



### ● 利用例：無線デバイス・人の居場所特定

- マップ上に無線デバイスの位置を表示でき、資産管理等に役立てることが可能です。



- 無線干渉になっているデバイスの位置も確認できる為、干渉源の物理的な排除が容易になります。

※Cisco Connected Mobile Experiences(CMX)の追加で、位置情報検出が可能になります。

デバイスの位置検出

